

(連続開催)

**「新興感染症感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム」
開催のお知らせ**

JARECでは、COVID-19および新興感染症の感染拡大防止に向けてご活動されている皆さまを対象に、感染症の収束と新たな社会のあり方に向けたシンポジウムを開催しています。今般、下記要領にてシンポジウムを開催致します。奮ってご参加頂きたくお願い致します。

右のQRコードまたは弊協会ホームページよりお申込み願います。

https://www.jarec.or.jp/jarec_workshop_covid19_v2/index.html



申込用
QRコード

第11回 12/9 Mon. 15:00～16:30 AP東京丸の内 (Webinar併用)

**「感染症制圧に向けたグローバルな取組みとパンデミックに向けた
明日への備え－パートナーシップの意義と創薬開発の展望」****公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund)
CEO 国井 修 氏 博士 (医学)**

(プロフィール)

日本発の官民ファンドで新薬の研究開発を推進、途上国の感染症克服を目指す。

1995年 国立医療国際センター国際協力局派遣協力課に所属

2004年 長崎大学熱帯医学研究所教授

2013年 グローバルファンド (世界エイズ・結核・マラリア対策基金) で戦略・投資・効果局長 2022年 現在に至る

概要：感染症は未だに世界で20億人近い人々を苦しめているが、気候変動やグローバリゼーションなどによって既存の感染症の再燃、新たな感染症の出現が懸念され、実際に起こっている。演者は1990年代からNGO、JICA、大学、外務省、国連・国際機関を通じて世界の感染症対策に従事してきたので、世界でどのような感染症制圧の取組みがなされてきたのか、特にパートナーシップの意義や役割を含めて説明し、また将来のパンデミックに対していかなる取組みが世界でなされているのか、特に検査・診断・ワクチンなどの開発を中心にお話したい。

第12回 12/16 Mon. 15:00～16:00 Webinar

「ヒト免疫応答の乱れ」と感染症の重症化と後遺症発症への関与

京都大学 大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授
京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 副拠点長
京都大学 免疫モニタリングセンターKIC センター長
上野 英樹 氏 博士 (医学)

(プロフィール)

ヒト検体を用いたヒト基礎免疫、臨床免疫学を行っている

1992年 京都大学医学部卒業後小児科に入局

2001年 ベイラー免疫研究所にて樹状細胞によるがんワクチン開発研究の他
ヒト濾胞性ヘルパーT (Tfh) 細胞の基礎的、臨床的研究を行う

2019年 京都大学着任 2021年 現職



概要：ヒトは感染症に罹患したのち、多くは完全に回復する。ここでは、ウイルスなどの感染病原に対処するために免疫機構が中心的な役割を果たしている。免疫機構の機能が十分でない場合、病原体の体内からの排除が遅れ、疾患の長期化や重症化が起こる。また、免疫機構の調整がうまくいかず、不必要な免疫応答が過度に誘導される場合にも、疾患の重症化が起こる。これら、いわゆる「免疫応答の乱れ」が重症化のみならず感染症罹患後の後遺症にも関与していると考えられている。本講演では、基本的なヒト免疫細胞の種類や特徴から、新型コロナウイルス感染によっておこる免疫応答、「免疫応答の乱れ」による重症化、後遺症への関与などについて、研究室の研究内容を紹介しながらわかりやすく解説したい。

これまでのワークショップ開催状況

第1回 2021年3月19日〔金〕 13:30-18:00

（基調講演1）

「新型コロナウイルスとワクチンのメカニズムー
コロナ対応の行動規範を考える」

第一三共株式会社ワクチン研究所 所長 武下 文彦 氏

（基調講演2）

「Withコロナ社会の見取り図ー

ウイルスとの共生の視点から」

国立大学法人長崎大学熱帯医学研究所

教授 山本 太郎 氏

（事例紹介1）

（地独）青森県産業技術センター工業総合研究所

葛西 裕 氏

（事例紹介2）

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本

部室 牧野 義之 氏

第2回 2021年9月24日（金）14:20～17:00

新型コロナウイルス感染症最前線の動きと感染防止に向けた新たなPCR検査体制

（事例紹介1）「札幌市におけるコロナをめぐる連携体制
の構築について」

札幌市保健所 疫学担当部長 中西 香織 氏

（事例紹介2）「大学と行政が共同で取り組む新型コロナ
ウイルス感染症に対する全自動PCR検査体制の整備と疫
学研究」

京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部

准教授 松村 康史 氏

（事例紹介3）「下水疫学による新型コロナウイルス感染
者の検知と個別施設での適用」

株式会社島津テクノリサーチ

環境事業部 副事業部長兼分析研究センター長

八十島 誠 氏

第3回 2021年11月19日（金）14:30～17:00

福岡バイオバレープロジェクトによる新型コロナウイルス感染防
止の取組

（事例紹介1）「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた福岡
バイオバレープロジェクト事業の紹介」

福岡県商工部新産業振興課水素・バイオ班 企画主幹

藤田 敏明 氏

（事例紹介2）「ボナックによる新型コロナウイルス感染症治療
薬の研究開発に向けた取組紹介」

株式会社ボナック R&D本部 久留米RDサイトヘッド

濱崎 智洋 氏

（事例紹介3）「KAICOによる新型コロナウイルス感染拡大防止
に向けた取組紹介」

KAICO株式会社 代表取締役社長 大和 建太 氏

第4回 2021年12月17日（金）14:30～17:00

地域による新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取組

（事例紹介1）「山梨県によるやまなしグリーン・ゾーン
認証制度の紹介」

山梨県 県民生活部 グリーン・ゾーン推進課 課長

鈴木 孝二 氏

（事例紹介2）スーパーコンピュータ「富岳」による
ウイルス飛沫・エアロゾル感染リスクの評価と対策提案
～飲食店での感染対策を例に～

国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター

チームリーダー 坪倉 誠 氏

（事例紹介3）コロナ感染症対策と社会経済活動の両立

東京大学大学院 経済学研究科 准教授

仲田 泰祐 氏

第5回 2022年3月17日（木）14:30～17:00

新型コロナの感染予防・治療に向けた地域プラットフォームの構築
に向けて

（事例紹介1）「京都発Disease X 感染症対策ワーキング
グループの取組」

京都府 政策企画部 企画参事 吉岡 信吾 氏

（事例紹介2）「シトラスリボンプロジェクト～23か月の軌
跡～」

松山大学 法学部 准教授 甲斐 朋香氏

愛媛大学 社会連携推進機構 教授 前田 眞氏

（事例紹介3）「新型コロナウイルスはなぜ変異するのか？
風邪のコロナウイルスになるのか？」

東京農工大学 農学部附属感染症未来疫学研究

センター センター長／教授 水谷 哲也氏

第6回 2022年9月30日（金）14:30～16:30

新型コロナウイルスにおける最新の研究開発動向と感染防止対策

（事例紹介1）「新型コロナウイルス感染症対策に関連
するAMEDの研究開発支援の状況について」

国立研究開発法人 日本医療研究開発機（AMED）

創薬事業部創薬企画・評価課

課長代理 池上 貴啓 氏

（事例紹介2）「新型コロナウイルス感染症対応からみ
た今後の健康危機管理」

浜松医科大学 医学部 医学科 健康社会医学講座

教授 尾島 俊之 氏

第7回 2022年12月9日（金）14:30～16:40

新型コロナウイルス感染防止に向けた地域の対策・指針の紹介

（事例紹介1）「下水情報の活用による新型コロナウイル
ス感染拡大防止に向けた取り組み」

東北大学 大学院工学研究科 土木工学専攻

教授 佐野 大輔 氏

（事例紹介2）「新型コロナウイルス感染対策における県
内専門家有志による取り組み-岡山県の一例」

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科

疫学・衛生学分野 教授 頼藤 貴志 氏

第8回 2023年2月24日（金）14:30～15:00

新型コロナウイルス感染症の行方

（基調講演）「コロナ禍の行方について」

国立研究開発法人科学技術振興機構 顧問 濱口 道成 氏

第9回 2023年7月3日（金）14:25～17:00

新たな感染症のメカニズムと感染者の実態把握に向けた取組

（基調講演1）

「下水疫学調査によるコロナ感染動向の把握に向けた取組」

島根大学医学部Acute Care Surgery講座・高度外傷

センター長 教授 渡部 広明 氏

（基調講演2）

「新型コロナの現状と今後の対策」

東京医科大学病院 渡航者医療センター

特任教授 濱田 篤郎 氏

第10回 2023年10月23日（月）14:25～17:15

ウィズコロナ社会の感染対策と行動規範

（基調講演1）

「高齢者における新型コロナウイルス感染症重症化傾向と
その問題点（コロナ禍を振り返って）」

北海道大学 大学院工学研究院 環境工学部門

准教授 北島 正章 氏

（基調講演2）

「RNAウイルスの変異と新興感染症：世界感染拡大のメカ
ニズムと備え」

厚生労働省 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究

センター 主任研究官 佐藤 裕徳 氏

主催・運営・お問合せ先

公益財団法人全日本科学技術協会

コロナ・新興感染症シンポジウム事務局 鈴木・小澤

Tel 03-3831-5911 E-mail corona2024@jarec.or.jp